

北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会
会長 大久保雅人
事務局 札幌市立しらかば台小学校
事務局長 野村 邦重
TEL (011)852-4090
<http://www.hokkaido-sla.jp/>
印刷所 ㈱北海プリント
TEL (011)811-2396

北海道学校図書館協会

平成22年度の活動始まる

平成22年度の定期総会が、5月15日(土)北海道立道民活動センター(かでの2・7)8F特別会議室を会場に開催されました。

定期総会では、平成21年度の研究・事業活動報告、会計決算報告、監査報告が承認され、「2010年国民読書年」に連携した取組を含めた平成22年度の研究・事業活動計画、会計予算が承認されました。

昨年度に引き続き、大久保会長・野村事務局長の体制で、研究活動の推進と組織強化・拡大を重点として、活動が開始されました。



◆ 平成22年度 研究・事業活動計画 ◆

(1) 研究活動

1. 第37回全国学校図書館研究大会・静岡大会への参加(平成22年8月4～6日)
2. 第52回北海道図書館大会の開催・協力(平成22年9月9～10日)
3. 第39回北海道学校図書館研究大会・十勝大会の推進(平成23年度開催)
4. 第40回北海道学校図書館研究大会・小樽大会の準備(平成25年度開催)
5. 第43回北海道学校図書館研修講座の開催(平成23年1月5～7日)
6. 各支部及び関係機関(読進協・全国SLA・道立図書館等)との協力研究
7. 全道研究部長会の開催(平成22年9月、平成23年1月:研修講座)
8. 全校読書活動や朝読書、学校図書館の活用を推進している実践校の把握と情報交流の推進
9. 『実践資料集 学校図書館☆学び方の指導ワークシート集』の普及・活用

(2) 組織・運動活動

1. 国民読書年関連事業展開へ連携
2. 全国SLA機関誌『学校図書館』の購読、普及促進
SLBCの加入促進と活用普及
3. 支部組織強化と道事務局(幹事)拡大の取組
・支部研究会・研修会、その他研究会への講師派遣
・石狩地区支部・網走市支部の立ち上げ、日高地区支部の再開
・道事務局(幹事)の組織拡大
4. 各支部間の情報交流(広報・ホームページ・全道研究部長会など)
5. 機関紙『北海道の学校図書館』270～273号
4回発行
6. ホームページの運用と情報交流の促進
7. 司書教諭の組織化と学校司書の制度化に関する取組
8. 学校司書の実態調査と配置拡大の要請

9. 「次代を担う子どもの心をはぐくむ北の読書プラン」実体化のための活動の展開
10. 「学校図書館図書整備費」の完全消化のための活動の展開、全国パンフレットの活用

(3) 普及活動

1. 第56回青少年読書感想文全道コンクール、第36回北海道指定図書読書感想文コンクールの開催
2. 第31回絵と文による冬休み読書大賞の実施
3. 平成22年度版読書感想文集『北海道の読書』の発行・普及
4. 優良図書選定会 毎月2回(札幌市教育委員会)
5. 毎月の優良図書の紹介(平成22年4月～平成23年3月)
「夏休みにおすすめする図書」選定・紹介
「冬休みにおすすめする図書」選定・紹介
6. 平成22年度版『北海道青少年のための200冊』の普及
7. 第36回北海道指定図書の普及、第37回北海道指定図書の選定
8. 「読書の時間」を活用するなど読書活動の推進
9. 「朝読書」の啓発・普及

(4) 協賛・協力活動

1. 第38回中学生作文コンクール「絆」審査協力(事務局・6支部)
2. 第32回高等学校図書研究大会・函館大会(高文連)への協力
3. 第33回北海道子どもの本のつどい・今金大会への協力
4. 石狩管内高等学校図書館司書業務担当者研究会への協力
5. 出版図書の推薦
6. 公共図書館・および図書館に関わる各種文化行事等への協力・援助
7. 優良児童図書展示会への協力(トーハン、NAC、学協)
8. 絵本ワールド「2010」への協力

会長挨拶



平成21年度に引き続き会長の任を仰せつかりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成21年度の北海道SLAの研究・事業諸活動につきましては、総会の中でご報告させていただきました通り、全道各支部の皆様、関係各機関、関係各団体などの皆様のご協力を得て、ほぼ計画通り推進し様々な成果を上げることができました。関係の皆様のご支援ご協力に心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年度11月5日、6日に釧路市において開催された第38回北海道学校図書館研究大会は、関係機関及び北海道SLA各支部の皆様のご支援ご協力により300名以上の参加者を得て成功裏の内に終了することができました。何よりも網野大会運営委員長をはじめ釧路大会の運営委員会、事務局の皆様のご尽力に厚くお礼申し上げます。この場をお借りして大会成功のためにご協力いただきましたすべての皆様に心よりお礼申し上げます。

釧路大会に続く第39回北海道学校図書館研究大会十勝大会は平成23年度に音更町を会場に開催する予定で、着々と準備を進めているところです。さらに、本総会において、平成25年度の第40回北海道学校図書館研究大会が小樽市において開催されることが決定しました。その後の開催地につきましても、全道研究部長会や総会の機会に相談を進めて早期に決定していきたいと考えております。

釧路大会の成功を引き継ぎ発展させていくように北海道SLAを挙げて取組を進めていきたいと考えております。皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

北海道学校図書館協会会長 **大久保 雅 人**
(札幌市立石山南小学校長)

また、昨今の学校図書館教育を巡る情勢を見ますと、平成19年度から開始された「新学校図書館図書整備5ヵ年計画」も4年目を迎え、図書標準の達成を目指して、その円滑な予算執行が望まれる現状です。また、司書教諭制度の充実や学校司書の配置、教育課程への「読書の時間」の設定などの過年度からの課題に対しての取組を、全国学校図書館協議会(全国SLA)と連動しながら進めて参りたいと考えております。全国SLAでは、3月29日に文部科学省の「今後の学級編制及び教職員定数の在り方」についての意見募集に対して、司書教諭と学校司書の定数措置を要望する意見書を提出したところがあります。

今後、北海道SLAとしても関係各機関の協力をいただきながら実現に向けて取組を進めてまいりたいと考えております。趣旨をご理解いただき、各支部での活動の中で具体化に向けて取り組みいただきますようお願いいたします。

さらに、平成22年は「国民読書年」であります。平成20年6月の国会における「国民読書年に関する決議」を受け、「政官民協力のもとに国をあげてあらゆる努力を重ねる」ことになっています。北海道においても、北海道教育委員会をはじめ、北海道立図書館、各地公共図書館などで、具体的な事業が展開されることになっています。北海道SLAとしても、国民読書年関連事業展開への連携を全国SLAとともに進めていきたいと思っております。全道各地でも関係機関及び関係団体と連携を密にして事業展開の推進をお願いいたします。

第52回北海道図書館大会のお知らせ

日時 9月9日(木)～10日(金)
場所 北海学園大学7号館 札幌市豊平区旭町4丁目1-40
札幌市市営地下鉄東豊線「北海学園前」下車1分
大会テーマ「国民読書年～今こそ図書館は力～」
基調講演 永江 朗 氏(早稲田大学文学学術院教授)
特別講演 宇江佐真理 氏(道内在住、時代小説作家)

《北海道学校図書館協会の担当分科会・展示会・資料販売》

9月9日(木)午後
○北米学校図書館の視察報告 苫小牧市立泉野小学校 鈴木祐亮 教諭
○絵本の魅力～読み聞かせ 絵本屋「ぼこぺん」 飛島詩子さん
9月10日(金)午前
○語りの魅力～その実際 札幌おはなしの会 代表 平野美和子さん、栃木絵里子さん

- ◆特別展示 小泉るみ子さん『山のとしょかん』絵本原画展
肥田美代子・文、小泉るみ子・絵 文研出版(2010.4.30刊)1365円
- ◆資料販売 全国SLAの出版物、道SLAの出版物
『山のとしょかん』小泉るみ子さんのサイン本50冊限定販売

〇〇〇 平成22年度 北海道学校図書館協会役員 〇〇〇

役員名	氏名	所属学校名	
会長	大久保 雅人	札幌市立石山南小学校	校長
副会長(小)	浦田 日出雄	札幌市立西岡小学校	校長
副会長(中)	門前 智	札幌市立北野台中学校	校長
副会長(高)	西村 喜憲	札幌清田高等学校	校長
副会長(高文連)	辻 敏裕	札幌南高等学校	校長
副会長(札幌市)	開 発 好 博	札幌市立もみじ台南中学校	校長
副会長(函館市)	渡 邊 敬 夫	函館市立高盛小学校	校長
副会長(小樽市)	岡 田 雅 彦	小樽市立桜小学校	校長
副会長(室蘭市)	笹 森 満 明	室蘭市立鶴ヶ崎中学校	校長
副会長(旭川市)	石 川 博 美	旭川市立啓明小学校	校長
副会長(帯広市)	山 崎 則 夫	帯広市立開西小学校	校長
副会長(釧路市)	倉 向 雅 之	釧路市立大楽毛小学校	校長
副会長(苫小牧市)	伴 俊 行	苫小牧市立明野中学校	校長
副会長(十勝地区)	高 橋 康 伸	広尾町立広尾中学校	校長
監 査 (小)	植 木 則 子	札幌市立常盤小学校	校長
監 査 (中)	西 村 日 登 志	札幌市立定山溪中学校	校長
監 査 (高)	三 輪 礼 二 郎	札幌藻岩高等学校	校長
理 事 長	棚 橋 洋 子	札幌市立手稲東小学校	校長
理 事 (研 究)	中 橋 理 子	札幌市立手稲宮丘小学校	校長
理 事 (事 業)	齋 藤 昇 一	札幌市立簾舞中学校	校長
理 事 (選 定)	大 島 孝 子	札幌市立栄町小学校	教諭
事 務 局 長	野 村 邦 重	札幌市立しらかば台小学校	校長
事 務 局 次 長	飯 島 道 恵	事務局	
事 務 局 次 長	本 間 聡	札幌市立藻岩小学校	教諭
事 務 局 次 長	村 山 知 成	札幌市立栄西小学校	教諭
幹 事 (総 務 部 長)	村 山 知 成	(兼)	
幹 事 (研 究 部 長)	佐 藤 敬 子	札幌市立発寒中学校	教諭
幹 事 (選 定 部 長)	吉 村 晶 子	札幌市立定山溪中学校	教諭
幹 事 (事 業 部 長)	飯 島 道 恵	(兼)	

〇〇〇 平成22年度 北海道学校図書館協会支部事務局一覧 〇〇〇

支 部	会 長	会長勤務先	事務局長	事務局長勤務先	電 話
札幌市	開 発 好 博	もみじ台南中(校長)	綿 谷 聡	厚 別 北 中	011-895-7461
後志地区			加 藤 幸 子	岩内町立岩内中央小	0135-62-0146
小樽市	岡 田 雅 彦	桜 小(校長)	森 万 喜 子	潮 見 台 中(教頭)	0134-33-1080
士別地区	佐々木 伸子	多 寄 小(校長)	森 野 憲 仁	多 寄 小(教頭)	0165-26-2151
旭川市	石 川 博 美	啓 明 小(校長)	加 藤 直 子	愛 宕 中	0166-34-9090
増毛町	高 谷 典 義	阿 分 小(校長)	佐 藤 利 恵	阿 分 小	0164-54-2304
留萌市	小 林 亜 希 子	東 光 小	田 中 有 香	留 萌 小	0164-42-1720
渡島地区	体阿弥 順一	森町立駒ヶ岳小(校長)	田 中 信	森町立駒ヶ岳小	01374-5-2243
函館市	渡 邊 敬 夫	高 盛 小(校長)	竹 内 泰 子	北 美 原 小	0138-46-1370
滝川市	河 原 政 志	江 部 乙 中(校長)	犀 川 公 生	江 部 乙 中(教頭)	0125-75-2260
岩見沢市	西 川 講 也	栗 沢 中(校長)	古 関 亮 子	栗 沢 小	0126-45-2786
苫小牧市	伴 俊 行	明 野 中(校長)	菅 原 清 美	明 倫 中	0144-74-2146
室蘭市	笹 森 満 明	鶴 ヶ 崎 中(校長)	真 砂 初 美	北 辰 中	0143-22-8188
十勝地区	高 橋 康 伸	広尾町立広尾中(校長)	椎 林 達 也	音更町立東士幌小(教頭)	0155-43-2311
帯広市	山 崎 則 夫	関 西 小(校長)	鈴 木 宏 和	柏 小	0155-23-1234
十勝地区高校	藤 本 勝 芳	清 水 高 校(校長)	杉 沢 朋 香	清 水 高 校(司書)	0155-62-2156
釧路市	倉 向 雅 之	大 楽 毛 小(校長)	千 田 充	青 陵 中	0154-46-1161
小清水町	飛 澤 修 一	小 清 水 中(校長)	石 原 邦 彦	小 清 水 中(教頭)	0152-62-2109
美幌町	中 川 啓 一	北 中(校長)	稲 葉 泰 徳	北 中(教頭)	0152-73-2441
北見市	三 谷 一 行	北 光 小(校長)	河 合 健 哉	北 光 小(教頭)	0157-61-3151
紋別市	平 野 毅	潮 見 中(校長)	山 中 高 広	潮 見 中(教頭)	0158-24-2415
大空町	碓 将 隆	女 満 別 小(校長)	西 村 一 夫	女 満 別 小(教頭)	0152-74-2262
空知地区	児 島 理 一 郎	深川市立多度志小(校長)	阿 部 博 昭	南幌町立夕張太小(教頭)	011-378-1801

(平成22年6月現在)

第37回 全国学校図書館研究大会 静岡大会

研究主題

知識をつなげる 学びをひろげる 心をはぐくむ 学校図書館
～ 未来に広がる 日々の成果を この静岡大会から ～



【開催要項】



©静岡県

- 主催 静岡県教育委員会・静岡市教育委員会・(社)全国学校図書館協議会
静岡県教育研究会学校図書館研究部・静岡県高等学校図書館研究会
- 後援 文部科学省・静岡県・静岡市
- 協賛 静岡県教育事業団体・静岡県出版文化会・日本教育公務員弘済会静岡支部

趣旨 近年、学校図書館は、従来の「読書センター」だけではなく、「学習センター」「情報センター」としての機能が求められ、「学校教育の中核」としての役割が強く期待されている。加えて、言語活動の充実を図るために、機能を高度化させることも一層求められている。

そのため、国は「学校図書館図書標準」の達成を図るために地方財政措置を行い、11学級以下の学校に対する司書教諭の配置促進、学校司書の配置拡大等、物的・人的な充実を図っている。今後は、学校図書館を活用する学習が広く展開され、言語力を養成する読書活動も、学校をあげて全教科・領域で行われることになる。

本大会では「知識をつなげる 学びをひろげる 心をはぐくむ 学校図書館」を主題に講演、シンポジウム、フォーラム、講義、研究討議などにより、多くの参加者と共に、今後求められる学校図書館の在り方について考えていきたい。

- 期日 平成22年8月4日(水)・5日(木)・6日(金)
*8月4日(水) 受付時刻 9:00~10:00
学校図書館を語る夕べ 17:15~ (グランシップ内で行います。)

- 会場 静岡県コンベンションアーツセンター (グランシップ)
JR東静岡駅南口より徒歩約3分 (東静岡駅南口から建物が見えます。)

参加者 趣旨に関心をもつ方ならどなたでも参加できます。

定員 2, 200人

参加費 6, 500円 (県内 4,000円) 学校図書館を語る夕べ 4, 500円

- 講演講師 ①宮西達也氏 (児童文学作家) ⑤落合恵子氏 (作家)
②スズキコージ氏 (絵本作家) ⑥野口 健氏 (登山家)
③柳田邦男氏 (作家) ⑦赤川次郎氏 (作家)
④桂 文我氏 (落語家) ⑧佐藤 学氏 (東京大学教授)
※番号は分科会の番号です。

日程

【第1日目】 8月4日(水)

9:00	10:00	11:45	13:30	14:50	15:10	16:30
受付	開会式 全体会	昼食	分科会 ①	移動 休憩	分科会 ②	

【第2日目】 8月5日(木)

9:00	9:20	10:40	11:00	12:20	13:30	14:50	15:10	16:30
受付	分科会 ③	移動 休憩	分科会 ④	昼食	分科会 ⑤	移動 休憩	分科会 ⑥	

【第3日目】 8月6日(金)

9:00	9:20	10:40	11:00	12:20	12:30	12:45
受付	分科会 ⑦	移動 休憩	分科会 ⑧	移動 休憩	閉会式	

※他にも様々なシンポジウム、フォーラムなどが組まれています。
※詳しくはホームページで確認してください。

〈大会内容のお問い合わせ先〉

第37回全国学校図書館研究大会 (静岡大会) 事務局 (静岡市立服織西小学校)
宇佐美 昌好 〒421-1201 静岡市葵区新間759-1-1

FAX 054-277-0253

E-mail hatorinishi-ep@shizuoka.ednet.jp

平成22年度 第56回 青少年読書感想文全道コンクール 実施要領

第36回 北海道指定図書読書感想文コンクール

1. 目的 ・青少年に読書を奨励し、明日の社会を担うにふさわしい人間の育成を図る。
・読後に自分を考えさせ、自己の生活の充実と豊かな心情を養う。
2. 主催 北海道学校図書館協会 毎日新聞社北海道支社
3. 後援 北海道 北海道教育委員会 北海道青少年育成協会
4. 応募資格 満20歳（1990年4月2日以降出生の者）までとする。
5. 対象図書 自由（読書） 自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問わない。
課題（読書） 全国学校図書館協議会が指定した図書
指定（読書） 北海道学校図書館協会が指定した図書
6. 区分 ①小学校低学年の部 ②小学校中学年の部 ③小学校高学年の部 ④中学校の部
⑤高等学校の部 ⑥勤労青少年の部
7. 字数 小学校…（低学年の部800字以内・中、高学年の部1200字以内）中・高・勤…2000字以内（400字詰め原稿用紙使用のこと。学校名入りのものは使用しないこと。）
8. 応募作品 各対象（図書）ごと一人1点、未発表のもの。作品は自筆のこと。複数作品応募可。
在 schools を通じ、各支部に提出する。応募票に必要事項を記入の上、作品に添付すること。
9. 応募締切 (1) 各支部締切 平成22年夏休み明けから9月中（支部毎に設定）
(2) 北海道締切 平成22年10月14日（木）必着
10. 入賞発表 11月中旬 受賞者・該当学校長・各支部に連絡
12月上旬 新聞発表等
11. 表彰式 平成22年12月5日（日） 場所～センチュリーロイヤルホテル
12. 賞 特別賞（知事賞など40人前後）
優秀賞（60人前後）
優良賞（100人前後）
13. 作品送付先 〒005-0842 札幌市南区石山2条8丁目8-1
札幌市立石山南小学校 大久保雅人
☎ (011) 591-4747 FAX (011) 591-4912

第56回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

	著者名	書名	出版社	定価
小学校低学年	きたむら さとし 作	ミリーのすてきなぼうし	B L 出版	1,575
	村上 しいこ 作 市居 みか 絵	とっておきの詩	P H P 研究所	1,155
	さえぐさ ひろこ 作 松 成 真理子 絵	むねとんとん	小 峰 書 店	1,155
	ディエリー・ロブレヒト 作 フィリップ・ホーセンス 絵 野坂悦子 訳	いじわるなないしょオバケ	文 溪 堂	1,365
小学校中学年	たかどの ほうこ 作 杉浦 範 茂 絵	こぶとりたろう	童 心 社	1,575
	野田 道子 作 太田 朋 絵	点子ちゃん	毎日新聞社	1,365
	カレン・リン・ウィリアムズ 作 カードラ・モハメッド 絵 ダーグ・チャーカ 絵 小林 葵 訳	ともだちのしるしだよ	岩 崎 書 店	1,680
	あんず ゆき 文	やんちゃ子グマがやってきた！ ：森からのメッセージ	フレーベル館	1,260
小学校高学年	岩城 範枝 作 松村 公嗣 絵	すみ鬼にげた	福音館書店	1,575
	岩崎 京子 作 田代 三善 絵	建具職人の千太郎	くもん出版	1,365
	ミタリ・パーキンス 作 ジェイミー・ホーガン 絵 永瀬 比奈 訳	リキシャ★ガール	鈴木出版	1,470
	富山 和子 著	海は生きている	講 談 社	1,470
中学校	八 東 澄子 著	明日につづくリズム	ポ プ ラ 社	1,365
	エリザベス・ジョージ・スピア 著 こだま ともこ 訳	ビーバー族のしるし	あすなる書房	1,575
	大 社 充 著	奇跡のプレイボール ：元兵士たちの日米野球	金 の 星 社	1,365
高等学校	高 嶋 哲 夫 著	風をつかまえて	日本放送出版協会	1,470
	カティア・ベーレンス 著 鈴木 仁子 訳	ハサウェイ・ジョウンズの恋	白 水 社	1,785
	中 村 安 希 著	インパラの朝 ：ユーラシア・アフリカ大陸684日	集 英 社	1,575

第56回 青少年読書感想文全道コンクール(指定)
第36回 北海道指定図書読書感想文コンクール

応募のきまり

平成22年度 (2010年度)

1 ● 目的

- (1)北海道に住む青少年に広く読書を奨励し、明日の社会を背負うにふさわしい人間の育成をはかる。
- (2)読書は、人間形成に寄与する部面が多くあり、このことから読後に自分を考えさせ、自己の生活の充実をはかり、豊かな心情の育成につとめる。

2 ● 主催

北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社

3 ● 後援

北海道・北海道教育委員会・北海道青少年育成協会

4 ● 応募資格

満20歳 (1990年4月2日以降出生の者) までとする。

5 ● 対象図書

- (1)自由(読書)——自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。
- (2)課題(読書)——[課題図書]全国学校図書館協議会が指定した図書
- (3)指定(読書)——[北海道指定図書]主催者の指定した図書

6 ● 区分

- (1)小学校低学年の部 (1、2年)
- (2)小学校中学年の部 (3、4年)
- (3)小学校高学年の部 (5、6年)
- (4)中学校の部
- (5)高等学校の部
- (6)勤労青少年の部

7 ● 応募締切

- (1)各支部締切 平成22年夏休み明けから9月中 (支部毎に設定)
- (2)北海道締切 平成22年10月14日(木) 必着

※自筆の応募作品で、最終まで審査を行います (返却はしません)。お手元にコピー等をとられてから、ご応募ください。

8 ● 字数

①400字詰原稿用紙使用、校名等記入されたものを使用しないこと。②小学校低学年800字以内、小学校中・高学年1,200字以内、中・高・勤労2,000字以内、③句読点1字、改行のための空白箇所は字数として数える。④規定の文字数に達しない、字数の少ない、短い作品は道審査では対象にはなりません。しっかりと書いてください。

9 ● 応募作品

- (1)各対象(図書)ごと一人1点未発表のもの。複数作品応募可。在学校を通じ(校内審査後)市、町、地区各支部に提出のこと。支部の確認等はホームページをご覧ください。(6月以降、今年度の支部明記) <http://www.hokkaido-sla.jp/> あるいは、北海道学校図書館協会で検索ください。
- (2)支部のない場合は、直接北海道学校図書館協会へ。支部からの応募には点数枠があります。直送の場合にも厳選の上、ご応募ください。
送り先=〒005-0842 札幌市南区石山2条8丁目8-1
札幌市立石山南小学校 大久保雅人
TEL 011-591-4747 FAX 011-591-4912
- (3)作品は自筆のこと。(コピーは不可、自筆不可能な場合は理由を添える)
- (4)必要事項を応募票に記入し、作品の右上にとじる。
- (5)作品(原稿用紙)には、ますの外に感想文の題名のみを記入し、直接文を書き出すこと。学年、氏名等も不要。

10 ● 入賞発表

- (1)支部——10月中に各支部ごとに発表
- (2)全道——11月中旬、受賞者、該当学校長、各支部に連絡
12月上旬、新聞発表等

11 ● 表彰式

平成22年12月上旬日曜日 特別賞・優秀賞の受賞者
於：札幌市内ホテル

12 ● その他

応募作品には必ず応募票(全国の様式に準ずる)をつけること。応募票には、必要事項をもれなくはつきりと記入すること。

(キリトリセン)

第56回 青少年読書感想文全道コンクール(指定)
第36回 北海道指定図書読書感想文コンクール

応募票

応募箇所に○ 自由 課題 指定

(キリトリセン)

感想文の題名											
所	(ふりがな) 学校名 (正式名称で)	北海道	郡	市	町	村	学校所在地	(〒) (TEL	-	-)
	(立)					学校	(電話番号は市外局番も記入してください)	(FAX	-	-)
属	勤務先 (勤労青少年のみ記入)		職業		勤務先住所	(〒) (TEL	-	-)		
	応募区分	小低・小中・小高・中・高 (学年) ・勤			生年月日・年齢	年 月 日生 (歳)				男 ・ 女	
対象図書	(ふりがな) 氏名	現住所		(〒) (TEL		-		-)			
	著者・编者・訳者 画家(絵本のみ)	書名		シリーズ名・文庫名							
出版社	発行年・定価・判型・ページ数	発行年	定価	判型	タテ	ページ数					
	感想文執筆に際し参考にした資料の有無 (どちらかを○で囲んでください)	有	無	(参考にしたもののタイトル、HPアドレス、ページ等、具体的にくわしく記入してください)							

※わかりやすく楷書で書いて作品の上にとじてください。

※応募区分、男・女別等は該当文字を○で囲んでください。

※応募票が不足のときは、これと同じものを作ってください。

※お預かりした個人情報は本事業以外の用途には使用しません。

学校図書館情報

【国民読書年

ロゴマーク】



2010年は「国民読書年」

◆平成22年度 北海道学校図書館協会
定期総会開催される。

5月15日(土)に、北海道立道民活動センター(かでの2・7) 特別会議室を会場として、全道各地から11支部、ご来賓(北海道立図書館長、北海道教育庁学校教育局義務教育課、北海道青少年育成協会、北海道PTA連合会、毎日新聞社、北海道新聞社、トーハン、日販、図書館ネットワークサービス、北海道通信社)、OB会員、役員・幹事の方々など49名が参加して、平成22年度定期総会が開催されました。

第37回全国学校図書館研究大会・静岡大会への参加と平成23年度に開催される第39回北海道学校図書館研究大会・十勝大会の推進、2010年国民読書年と連携した取組、学校図書館の一層の充実に向けて各支部の取組の強化、研究の重点に⑤特別な支援を必要とする児童・生徒を支える学校図書館の研究を付加、支部組織強化(新しい支部の立ち上げと再開)と道事務局幹事の拡大、北海道指定図書を選定枠の拡大(13冊指定)、機関紙の発行回数は年5回から4回へ、ホームページの活用と情報交流の促進等、熱心に話し合いがなされ、盛会の内に終了いたしました。

今年度も各支部のご協力、ご支援をよろしく願います。

◆全国SLA機関誌『学校図書館』の定期購読を

機関誌『学校図書館』は、学校図書館に関する今日的情報が満載の月刊誌です。また、『学校図書館速報版』は、毎月2回発行され、最新のニュースと選定図書の情報が得られます。各支部や個人で全国SLA事務局へ申し込むと、支部負担金の軽減につながります。

◆「北海道指定図書」の普及・活用を

今年度から、これまでの北海道を舞台、題材とした作品や北海道ゆかりの作家等のわくをより広げ、北海道に住む子どもたちに、広く良書にふれてほしいとの思いで指定図書を選定しています。

読書感想文コンクールの課題図書と一緒にセットで購入をお願いします。

事務局

〒062-0054 札幌市豊平区月寒東4条18丁目10-43

札幌市立しらかば台小学校内

事務局長 野村 邦重

TEL 011-852-4090

FAX 011-852-2379

mail:kunishige.nomura@city.sapporo.jp

Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用ください。

キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15

TEL (011) 857-3331

FAX (011) 857-5211

◆学校図書館ブッククラブ(SLBC)の積極的活用を

SLBCは、出版社96社からなる図書購入組織です。新刊図書の購入は、SLBCのリストから選び、出入りの業者の方へ「SLBCをお願いします。」と伝えるだけです。限られた予算内でも充実した蔵書構成が可能になります。活用しましょう。広げましょう。

◆第38回中学生作文コンクールテーマ決まる。

今年のテーマは、「絆」きずな：私たちは決して一人で生きているわけではありません。家族や友達、地域やさまざまなものにつながっています。そして、互いに「絆」を大切に、支え合いながら生きています。これまであなたが経験し大切にしている「絆」を綴ってください。

応募期間：7月1日(木)～9月30日(木)

結果発表：平成23年1月4日(火)を予定

募集要項等は、毎日新聞社から発送となります。多数の応募を期待しています。

◆第31回絵と文による冬休み読書大賞

今年も、グレード毎の推せん図書と、北海道青少年のための200冊の本が対象図書となります。

各学校に要項・リストを送付します。HPでも詳細をお知らせします。

編集後記

国民読書年である2010年も半年を過ぎようとしています。各地で国民読書年にちなんだ行事が開催されていますが、皆様方の周囲ではいかがでしょうか。さて、今年度より機関紙『北海道の学校図書館』は年間4回発行することとなりました。発行回数は減りますが、内容をさらに充実させ全道各地の皆様役に役立つ情報をできる限りお届けしたいと考えております。ご意見ご要望などありましたら、お寄せください。

編集：杉本 操 村山 知成 佐藤 秀則
野村 邦重 飯島 道恵

ホームページアドレス

<http://www.hokkaido-sla.jp/>